

国際交流基金助成事業報告書

薬学科 2年次 赤木茉穂

1. はじめに

私は国際交流基金の助成を受け、8月21日から8月28日まで行われたバンクーバーサマープログラムに参加しました。このプログラムで経験した医療英語レッスン、医療施設の訪問などについて報告いたします。

2. 渡航前に考えていた自分の目標

渡航前の目標として「英語力を高める」と挙げていました。コロナ緩和化のため外国人の観光客が増えてきた現在、英語の必要性を感じる事が多くあります。また、海外へ行って物事の捉え方や視野を広げたいと思い、バンクーバーサマープログラムに参加しました。

3. 渡航後その目標を考えて

「英語力を高める」という面では、実際に英語でコミュニケーションをとったことで高まったと思います。また、文法も高度なコミュニケーションをとるには必要

なことだけど、それより発音の重要性を思い知りました。

日本とカナダとは大きな違いがあると思うことが何度もありました。例えば、店の店員さんが初対面の私に対しても冗談を言ってきたり、文化の違いがあったと思いました。

4. 医療施設見学



医療施設見学として、私たちは現地の病院、薬局、救急医療センター、医療翻訳の施設に行きました。その中で1番印象

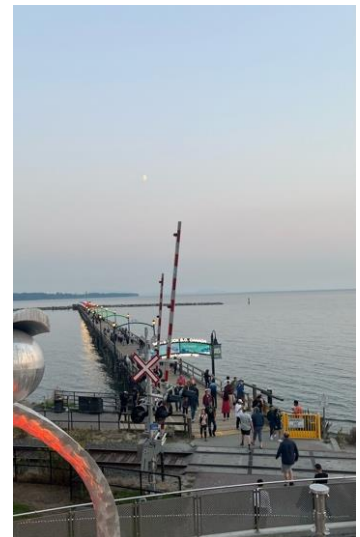


に残ってるのは薬局見学です。現地で働く日本人の薬剤師さんがゲストスピーカーとして来て、日本とカナダの薬剤師の違いなども話してくれました。カナダと日本の薬剤師の仕事内容には大きな違いがありました。日本の患者さんはまず病院に行って処方箋をもらってから薬局へ来るので、薬剤師はそ

の処方箋に従って患者さんに薬を渡すのですが、カナダでは患者さんは病院へ行かず、まず最初に薬局に来るので、薬剤師が患者さんに処方する薬を自己判断で決め、それに加えて病態をきいて病院に行った方がいいかどうかも患者さんは相談してくるそうです。日本の薬剤師よりカナダの方が責任が大きいつ、やりがいはありそうだと思います。また、カナダでは大麻が合法であるため、薬物中毒者の治療の業務があり、日本と異なることが多くありました。

5. 気候

今回、8月21日から8月28日の滞在で、日本では40°Cを超える地域もあるような真夏だったのカナダでの気候は朝は14°C、昼の最高気温が24°C程度と気温が日本に比べてとても低かったです。街中では夏でも朝はダウンを着ている人がおり、1日の気温変化が激しい地域でもあったと思います。また、夏は遅い時間になっ



てもなかなか暗くならず、暗くなる時間が最も遅い時期は夜の10時ごろにようやく日が沈むそうです。右の写真は私が滞在していた期間の夜8時の写真ですが、このように夜でも明るかったです。

6. ホームステイ

私はカナダのサレーにある
お家にホームステイさせてい
ただきました。ホームステイ
先ではホストファミリーの方



とたくさんお話しできました。小学生の息子さんも
いたので一緒に紙飛行機を作って飛ばしたり、お絵
描きをしたりしました。ご飯もとてもおいしかったです。
初日の夜ご飯で味噌汁が出た時は驚きました。
他にはカナダらしいとても大きなピザを食べたり、
鶏一羽まるまる使った料理も食べさせてもらいまし
た。1日だけ学校終わりにホストファミリーが車で



おでかけに連れて行ってくださいました。カナダとアメリカの国境まで行って、
その近くの広場でBBQもしました。



7. これからの自分

バンクーバーサマープログラムを通して、自分の将来について視野が広が

りました。将来、就きたい仕事を考える時、英語を活用できるような仕事を考えるようになりました。自分の話した英語がちゃんと通じたことをうれしく思い、もっと話せるようになりたい、英語を勉強しようと思うようになりました。カナダで医療翻訳の方のお話をきいて、医療翻訳の資格をとることも考え始め、医療英語の勉強もしようと思っています。

8. 最後に

今回、このプログラムに参加させていただき、貴重な体験をたくさんさせていただきました。それも手厚い支援をしていただいた国際交流基金助成事業のおかげです。ありがとうございました。